

【知的障がい】
（道央圏）

空知管内

北海道美唄養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒072-0811 美唄市東7条南3丁目1-1
- 問 合 せ 先 TEL 0126-62-6511
FAX 0126-62-6512
E-mail bibaiyugo-zo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.bibaiyugo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「児童生徒の主体的に生きる力を伸ばし
地域社会の中で豊かに生活する人を育てる」
- 教 育 信 条
「あくまでも優しく あくまでも厳しく」
- 概 要



本校は昭和52年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は、平成10年に設置され、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、交流及び共同学習や地域への貢献活動など地域の人材や資源を生かした学習活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指しています。生徒一人一人が培ってきた力を土台に、現在の学校生活を豊かにするとともに、将来の社会参加、自立に必要な力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、一人一人の発達の段階に応じて、生活スキルの向上を図るほか、日常生活を豊かに過ごすための様々な余暇活動に取り組んでいます。

■特色ある教育活動

高等部教育目標「地域社会とのつながりを意識し、生活する力を身に付ける」

- (1) 社会生活に必要な基本的生活習慣を身に付ける
- (2) 意欲的に社会参加する力を身に付ける
- (3) 自ら考え、主体的に行動する力を身に付ける
- (4) 身体の状態の改善・維持・増進を図る
- (5) 心理的な安定を図り、円滑にコミュニケーションをとれる力を身に付ける

【 進路の学習 】

総合的な探究の時間を中心に、卒業後の生活を見据えた進路学習に計画的に取り組んでいます。「働くことの理解」「挨拶、言葉遣い、マナー」「社会見学（事業所・施設見学）」「現場実習（事前、事後学習を含む）」等の指導内容を配置し、自己理解を促し卒業後の生活について考える学習に取り組めます。同時期に、終日作業学習を行う「集中作業日」（3日間）を設けたりしているほか、学校生活全般を通して、様々な人との関わりの中で生活していくために必要な力を身に付ける指導を行っています。

【 地域の清掃活動 】

「生徒自身が地域の人々のために役に立てることはないだろうか」と考え、年に数回、美唄市役所市民部生活環境課と連携し、学校周辺地域の環境整備として清掃活動に取り組んできました。地域の方からの「お疲れ様」「ありがとう」の感謝の声は、生徒たちの励みとなっています。

【 交流及び共同学習 】

同年代の生徒と協働した活動を通して生活経験を広げ、社会性や豊かな人間性を育てることを目的として、美唄市にある高等学校2校と交流及び共同学習に取り組んでいます。



作業学習：環境班



現場実習：事業所



校外学習



体育：20分間走



高等部祭：生徒パフォーマンス



生活単元学習：選挙

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学	保健体育	国語・数学	保健体育	保健体育
3	作業学習	生活単元 学習	作業学習	作業学習	生活単元 学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の 指導	生活単元 学習	LHR
7					
8	日常生活の 指導	日常生活の 指導		日常生活の 指導	日常生活の 指導

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	保健体育	自立活動	保健体育	保健体育
3		生活単元 学習		自立活動	生活単元 学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の 指導	生活単元 学習	L H R
7					
8	日常生活の 指導	日常生活の 指導		日常生活の 指導	日常生活の 指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:50～9:00（月～金）

* 下校時間 14:50（月・火・木・金）／13:20（水）

■教育課程の特徴

生徒一人一人の教育的ニーズや障がいの特性、発達の段階等を考慮し、グループ別学習を行うとともに、本校小・中学部の教育課程との一貫性を踏まえた教育課程を編成しています。

□ 作業学習

作業学習は4つの作業班を設定しています。

- ・環境班（清掃活動、農作業等）
- ・陶芸班（皿などの製作、販売に向けた取組等）
- ・リサイクル班（空き缶・ペットボトル回収、分別等）
- ・生活総合班（クラフト、木工作業等）

3年間を通して一つの作業班に所属して学習するのではなく、年度ごとに意向調査を行い、作業班の変更を可能としています。生徒が様々な作業を通して、自身の作業適性や特性（よさ）を知るなど、自己を理解する機会としています。

□ 現場実習

生徒、保護者の願いを踏まえ、卒業後の生活を見据えた現場実習を行っています。各事業所等での作業や余暇的な活動を経験し、進路を選択するための学習を計画的に進めます。

- ・第1学年：学校近隣の事業所で行う実習（3日間）
- ・第2学年：自宅から通勤して行う実習（5日間）
- ・第3学年：卒業後の福祉的就労先で行う実習（10日間）

※必要に応じて、追加の実習を行います。

□ 生活単元学習

生活年齢にふさわしい単元設定を意識し、ねらいに合わせて学習集団を学部全体、学年、学級などで構成し学習活動を進めています。

□ 自立活動の指導

生徒一人一人の学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

□ 福祉的就労～9名

（就労継続支援B型～7名／就労移行支援～1名／生活介護～1名）

学校のWebページ



空知管内

北海道南幌養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒069-0232 空知郡南幌町緑町5丁目1番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-378-2313
FAX 011-378-2319
E-mail nanporoyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanporoyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人が力と個性を発揮し 社会で豊かに生活する力を育む」

- 校 訓
「健康」「協力」「努力」

- 概 要
本校は昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置され、生徒一人一人の発達の状態や障がいの特性、課題等を踏まえ、よさや可能性を最大限に伸ばし、将来につながる基礎的・基本的な力を身に付けることを目標としています。



また、寄宿舎では、基本的な生活習慣や社会性、主体的な生活態度の育成・定着を図っています。

令和2年度から学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）となり、一層地域と連携した教育活動の充実を図っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標

「主体的に豊かな社会生活が送れるように、一人一人が自分らしい表現力を高め、ゆとりある心で、仲間とともに学びあう力を養う」

- 身につけ、活かす生徒
- 集団の中で感じ合う生徒
- しなやかに生きる生徒

【 各教科等の指導・各教科等を合わせた指導 】

生徒一人一人が、社会生活に役立つ力や表現力を伸ばすことができるよう、集団生活の中で主体的な活動や協力的な活動に一人一人の特性や発達段階等に応じて取り組んでいます。学習内容に応じて、個別の学習やグループ学習で効果的に学ぶことができるようにしています。

【 社会生活実習 】

卒業後の社会生活を考え、教育活動で培った力を実社会で実践し、発展させることを目標として、社会生活実習を行っています。学年進行で段階的に取り組んでおり、町内の施設を活用した実習などを経験し、第3学年では、卒業後に働くことを前提とした実習に取り組んでいます。こうした取組を通して、卒業後の生活にスムーズに移行できるようにしています。

【 地域資源を活用した体験学習 】

学習経験の拡充・充実を目指し、地域の物産館や生涯学習センターを活用した調べ学習や体験学習を行っています。学校周辺の地域から、生徒の居住地区や北海道の地域の特徴や文化などに興味を持つことができるよう、発展的に取り組んでいます。



社会生活実習：町内施設での実習



作業学習：町内花壇の除草



作業学習：縫工班の作品



生活単元学習



体力づくり



地域資源を活用した学習：
南幌ビューロー見学

■第1学年生徒の週時程表

【全学年共通（普通学級・重複障がい学級）】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	S H R				
2	課題別学習・ 自立活動	保健体育			
		課題別学習・自立活動			
3	美術	作業学習	作業学習	生活単元 学習	生活単元 学習
4	LHR				
5	生活単元 学習／ 総合的な探 究の 時間	音楽	保健体育		作業学習
6					

□ 日常生活の指導

生活の流れに沿った実際的な場面で指導を行うことで、生活リズムの確立や健康で安全な生活を送るための知識や技能を身に付けることを目指しています。

* 登校時間 8：50（月～金）

* 下校時間 14：50（月～水・金）／13：20（木）

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、日常生活の指導を中心に、保健体育や音楽などの教科別の学習や総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、相互に関連付けながら教育課程を編成しています。キャリア教育の視点を踏まえ“生徒が卒業後の社会生活で役に立つ力”の習得や定着を目指し、日頃学習した体験を日常生活に結び付ける教育活動を推進しています。

□ 作業学習

ものづくりや植物を育てる学習活動を通して、働く意欲を育み、学校生活や卒業後の社会生活をより主体的に送るための知識や技能、態度及び習慣を身に付けることを目指しています。環境・リサイクル班、縫工班等を編制し、学習しています。

□ 生活単元学習

生活に関連する一連の活動を組織的に学習することで、社会生活に必要な事柄を実際の・総合的に身に付けることを目指しています。成功経験を数多く積むことを大切にしながら、卒業後の社会参加に必要な知識や技能などを身に付けます。

□ 自立活動の指導

生活に関連する一連の活動を組織的に学習すること

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

□ 福祉的就労～25名

【就労継続支援B型15名、通所生活介護5名、入所2名】

学校のWebページ



空知管内

北海道夕張高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒068-0424 夕張市千代田7番地1
- 問 合 せ 先 TEL 0123-56-5530
FAX 0123-56-5532
E-mail yukoyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「Believe in yourself～協働・チャレンジ～
「輝きながら、夢をもって歩む人を育てる」

□ 校 訓

「伸びやかに たくましく」

□ 概 要

本校は、知的障がいと他の障がいを併せ有する生徒を対象とした高等部普通科のみを設置する特別支援学校として平成13年に開校しました。令和6年度からは、普通学級が設置になり、学年の人数が最大11名となり小規模の良さを生かした教育活動を実践しています。そのため、個々の教育的ニーズに対応した指導が特徴の一つです。また、寄宿舎を併設しており、少人数のゆとりのある空間を利用した生活習慣の育成を目指しています。



■特色ある教育活動

個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた一人一人に応じた指導の充実

【 小集団・縦割り学習集団、個別対応による学習形態 】

生徒一人一人の障がいの状態に応じた、きめ細やかな教育課程を編成し、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいて指導体制や教育環境の整備に努め、社会生活において生徒個々に必要となる知識や技能等の実践的な力の育成を行います。

【 個別の課題に応じた進路指導 】

進路選択に向けて、第1学年から事業所の見学を行います。事業所における現場実習は第2学年から居住地において実施し、第3学年になると卒業後の利用を前提とした現場実習を実施します。毎年行う校内実習や地域の教育資源を活用した授業の展開など、丁寧な進路指導に努めています。

【 充実した寄宿舎生活 】

寄宿舎生活では、2人部屋を基本としています。日課に沿った生活を通して、基本的な生活習慣の質を高めるとともに、余暇活動の充実を図り、社会で「生活する力」の育成を行います。

【 個別の配慮が可能な設備・施設 】

校舎は、平屋のバリアフリーの構造で、各学年に1室ずつ冷房付きの教室、全教室に高さを調節できる可動式の洗面台があります。



作業学習



美術



生活単元学習



体育



寄宿舎での余暇活動



寄宿舎での余暇活動

■週時程表

【全学年共通】

	月	火	水	木	金
1	朝の会				
	国語・数学 / 自立活動				
2	保健体育 / 体づくり / 自立活動				
	中休み				
3	作業学習 / 自立活動			生活単元 学習 / 総合的な 探究の 時間	社会 理科 英語 / 自立活動
4					
5	日常生活の指導（給食）				
	昼休み				
6	音楽	美術	音楽	HR / 生徒会	選択授業
7	選択授業 （自立活動／生活単元学習／各教科等）				帰りの会
	帰りの会				

* 登校時間 8：35（月・火・水・木・金）

* 下校時間 15：00（月・火・水・木）／14：10（金）

■教育課程の特徴

本校では、学校教育目標を達成するために、目指す生徒像（資質・能力）として、①日常生活にかかわる力 ②健康・体力にかかわる力 ③相談・理解・表現にかかわる力 ④余暇活動にかかわる力 ⑤人とかわる力の「5つの力（意欲）」の育成に努めています。

□ 教育課程は、各教科等を合わせた指導（作業学習、生活単元学習など）と教科別の指導（国語、数学など）、自立活動を生徒の実態に応じて選択することができます。
「美術」「音楽」と「総合的な探究の時間」「道徳」は全ての生徒が学びます。

□ 自立活動では、一人一人の実態に合わせて、それぞれの課題に即した活動を取り入れ、他の学習と関連付けて学習しています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉的就労（就労継続支援B型）～3名
- 福祉的就労（生活介護）～1名（通所併用含む）

・生活形態 自宅からの通所～3名 グループホーム～1名

学校のWebページ



空知管内

北海道雨竜高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒078-2600 雨竜町字尾白利加92番地21号
- 問 合 せ 先 TEL 0125-78-3101
FAX 0125-78-3101
E-mail uryuukoyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.uryuukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「～夢・チャレンジ・実現～」

希望に向かって挑戦する、明るく力強く生きる生徒を育てる」

□ 校 訓

「健康 誠実 努力 創造」

□ 概 要

本校は昭和59年に開校した職業学科を設置する高等養護学校です。5つの学科を設置しており、地域資源を活用した作業学習等を通じて、卒業後の職業自立と社会参加に向け、「働く力・生活する力」「意欲・主体性・自信」を養うための教育を行っています。

寄宿舎では、集団生活におけるルールやマナーを守りながら生活することで、規範意識を高めるとともに、基本的生活習慣の定着を図っています。



■特色ある教育活動

本校では「生徒一人一人が 生き生きと輝き 挨拶と笑顔があふれる 学校づくり」を本年度の重点と位置づけています。また、指導の重点として【生徒一人一人のために「分かる、できる授業づくり」「考え、判断し、行動する力の育成」「自分や相手を思いやる心の涵養」】を設定し、日々の教育活動に取り組んでいます。

【 農 業 科 】

農業科では、野菜、花の栽培・販売、校地内の花壇整備・管理、近隣地域の農家提供の稲わらを使用した製縄、町内公共施設に四季の鉢花を提供するフラワースマイルプロジェクトなどに取り組みます。

【 生産技術科 】

生産技術科では、農作物の栽培・収穫・販売、花の栽培・ドライフラワー加工・フラワーアレンジメント製作、紙工作業（名刺・はがき・カレンダー等）、織工作業（ランチョンマット等）、資料の丁合業務などに取り組みます。町内施設の窓清掃も計画中です。

【 窯 業 科 】

窯業科では、陶器の皿や小鉢、カップ類等の製作・販売活動に取り組みます。また、年間を通した活動として、雨竜米の粳（もみ）を原材料とした釉薬（ゆうやく）「暑寒白鳥釉」作りにも取り組みます。

【 木 工 科 】

木工科では、木材を原料に、材料取り・製材・研磨・組立て・塗装までの工程を通した製品づくりや販売活動に取り組みます。町内の幼児に積木を贈呈する「ウッドスタート事業（学校・雨竜町・東京おもちゃ美術館との協定）」にも取り組みます。

【 工 業 科 】

工業科では、セメントを原料とした各種コンクリート製品（民地仕切石・歩道平板など）や皮革加工による製品（コースターなど）の製造、販売活動に取り組みます。町内の公園遊具の整備や工業科製品を用いた簡単な土木施工にも取り組みます。



農業科：鉢花管理



生産技術科：織工作業



窯業科：撥水作業



木工科：カーブの整形作業



工業科：汚泥槽の清掃



現場実習の様子

■第1学年生徒の週時程表

【全学科共通】

	月	火	水	木	金
1	生徒会活動 (委員会・集会)	体力づくり			生活単元学習／情報
2	作業学習	作業学習	生活単元学習／情報	作業学習	A:美術 B:保健体育
3					
4			LHR		
5	生活単元学習／ 総合的な探究の時間	A:保健体育 B:美術	A:国/数 B:音楽	生活単元学習／情報	
6	国語／ 数学		A:音楽 B:国/数	国語／ 数学	

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、各教科等を合わせた指導と教科別の指導を適切に配置し、相互に関連付けて教育課程を編成しています。“卒業後の社会生活（職業生活を中心とした自立と社会参加・社会貢献）のために、どこで生活しても汎用的に役立つ力（強み）”となる知識や技能、態度及び習慣の育成を目指した教育活動を展開しています。

□ 自立活動の指導

一人一人の中心課題を適切に分析し、必要となる項目を選定し、具体的な指導内容を設定します。生活の質を高めるための土台として、全教育活動と関連付けながら意図的・計画的に指導しています。

□ 作業学習

各学科の作業では、仕事場で必要とされる知識や技能、態度及び習慣や、状況判断・対応する力などを身に付けることができるよう、実践的な学習活動に取り組みます。

授業時数は、週あたり1学年が9時間、2学年が11時間、3学年は12時間です。

□ 現場実習

事業所や施設等での実習を通して、自立と社会参加・社会貢献に向けた基礎的な能力を育成し、意欲、自信、主体性を育みます（第1学年は5日間、第2学年は2週間、第3学年は2～6週間）。

* 登校時間 8:30（月～金）

* 下校時間 15:30（月～木）／12:15（金）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～12名【小売業、製造業、施設厨房、ホテル清掃など】
- 福祉的就労（移行支援／就労継続B型）～18名【接客、清掃、菓子製造など】
- その他（進学）～1名

学校のWebページ



石狩管内

北海道札幌養護学校白桜高等学園

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住所 〒003-0876 札幌市白石区東米里2062番地10
- 問合せ先 TEL 011-879-2530(代表)
FAX 011-879-2531
E-mail hakuou-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakuou.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の良さ・可能性を最大限に伸ばし、
健やかで主体的に学び続ける児童生徒を育てる」
- 具 体 目 標
「健康で丈夫な体」「優しく豊かな心」「表現する力」
「主体的に学ぶ力」



□ 概 要

本校は、昭和33年に知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校として開校し、令和3年4月に高等部が札幌白陵高等学校校舎に移転し、新たに白桜高等学園として開校し、校舎2階を占有スペースとして学習活動を行っています。札幌養護学校高等部の良さを継承し、発展させることを基本としながら、様々な生活場面での学習や卒業後の生活に結び付く体験的な学習を展開します。また、多様な発達段階にある知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、音楽、美術、保健体育等の各教科や、作業学習、生活単元学習など、個に応じた学習を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 集団生活をとおして相手の気持ちを理解し、仲間とともに活動する力を育てる。
- 様々な生活場面において自分の気持ちを適切な方法で表現したり、伝えたりする力を育てる。
- 自分のよさを知り、自ら判断し、行動、解決する力を育てる。

【 主体的に活動するための工夫 】

学習活動全般を通して、生徒が自分で活動を選択したり、意思を表示したりできる体験的な活動の場面を設定しています。また、各授業では、生徒が学習活動に興味・関心をもって取り組めるよう、ICT機器を積極的に活用し、基本的な知識や技能の習得を図る学習などに取り組みます。

【 各教科等を合わせた指導 】

集団生活の中で自主的な活動や協力的な活動を体験しながら、社会的なルールを身に付けたり、望ましい人間関係を構築する力を育成します。また、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習等をとおして社会生活に必要な力や働く（活動する）力を实际的、総合的に体験しながら身に付けられるよう取り組みます。

【 各教科の指導 】

音楽、美術、保健体育の指導を通して、感受性を豊かにするとともに、豊かな人間性や健康を維持できる体力の向上に努め、生徒個々の長所を生かした表現能力の向上を目指した学習活動に取り組みます。



作業学習：環境整備班



作業学習：紙工班



作業学習：手芸班



体育大会



白桜祭（学校祭）



生徒会役員選挙

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導 登校 着替え 朝の学習 朝の会				
2	体力づくり				
3	作業学習	生活単元 学習	生活単元 学習	生活単元 学習	作業学習
4	作業学習	保健体育	音楽		作業学習
5	日常生活の指導 配膳 給食 下膳				
	休み時間		日常生活の指導 着替え 帰りの会 下校	休み時間	
6	課題学習	美術		特別活動	LHR
7	日常生活の指導 掃除 着替え 帰りの会 下校			日常生活の指導 掃除 着替え 帰りの会 下校	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8：50（月～金）
 * 下校時間 14：45（月火木金）
 13：10（水）

■教育課程の特徴

- 作業学習、生活単元学習、日常生活の指導などの各教科等を合わせた指導を中心に、将来に向けて必要な力を育てるため、音楽、美術、保健体育などの教科別の学習を適切に配置し、相互に関連付けながら教育課程を編成しています。
- 自分の良さを知り、自ら判断、行動し解決できる力を高められるよう、教育活動を展開しています。
- 課題学習
国語や数学といった各教科の内容のほか、手指の巧緻性やコミュニケーション能力を高める自立活動の指導など、生徒の実態や課題等に応じた学習を、毎日行っています。
 - 作業学習
様々な職場・場面に対応しながら働くなど、基礎的な力が高まるよう、生徒の実態や興味・関心等を考慮し、環境整備班、手芸班、紙工班の3グループによる学習活動を行っています。
 - 自立活動の指導
課題学習の時間において、卒業後の生活を見据え、他者との関わりや、自己理解、コミュニケーション等について学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

□ 福祉的就労～33名【生活介護・就労継続支援B型・自立訓練】

学校のWebページ



石狩管内

北海道札幌養護学校共栄分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒061-1112 北広島市共栄274番地1
- 問 合 せ 先 TEL 011-373-6859
FAX 011-373-6860
E-mail sapporoyougokyouei-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporoyougokyouei.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし 健やかで主体的に学び続ける児童生徒を育てる」
- 校 訓
「健康で丈夫な体」 「優しく豊かな心」 「表現する力」
「主体的に学ぶ力」
- 概 要



本校は、広島町立東部小学校富ヶ岡分校が北海道へ移管されたことに伴い、昭和54年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。当初は施設内分校として設置されましたが、施設が成人対象に転換するなどの状況があり、現在は知的障がいに肢体不自由を併せ有する重複障がいの生徒が多く在籍しています。生徒の学習上・健康上の特性等を踏まえ、医療的ケアの実施も含めた安全・安心な環境整備に努め、他者と関わり自己を表現するために必要なコミュニケーション力を養うことを中核として、卒業後の自立と社会参加を目指した教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標 「人と豊かにかかわる生徒」

- ア 自分の思いを表現できる力を育てる
- イ 人とのかかわりの中で興味・関心の幅を広げ主体的に学ぶ力を育てる
- ウ 自分の身体を意識しながら健康な生活を送る力を育てる

今年度の重点：人とかかわる力や集団の中で役割をもって行動する力を育てる

【 集団での学習を大切にした授業づくり 】

生徒の実態に応じた個別の対応を大切にしながら、集団学習の機会を数多く設定し、自分の思いを表現したり、他者との関わりの中で主体的に学ぶ力を育てる学習活動を行っています。

【 医療的ケアの実施 】

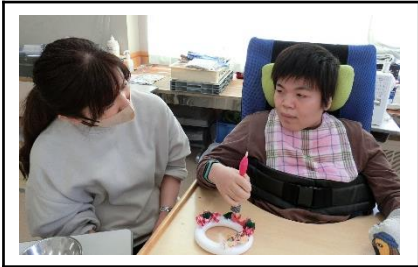
健康状態に特に配慮が必要な生徒に対して、生徒の主治医等と連携して医療的ケアを実施しています。医療的ケアの実施により、生徒は心身が安定した状況で充実した教育活動に取り組むことができます。

【 安全・安心な教育環境づくり 】

障がいの重度・重複化、多様化に伴い、体調の急変などの緊急時における関係諸機関等と連携した体制整備に努めています。在籍生徒一人一人の状況に応じた体制づくりを行っています。



体づくり：ウォーキング



生活単元学習：リースづくり



作業学習：小豆の殻むき



たいいくタイム：
そりすべりスラローム



おながくタイム：フェスをしよう！



総合的な探究の時間：
主権者教育(選挙)

■令和6年度の週時程表

【 重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/自立活動（朝の活動）				
2	自立活動（体づくり）				
3	日常生活の指導（朝の会）				
4	生活単元学習	たいいくタイム	生活単元学習	総合的な探究の時間	おながくタイム
5	日常生活の指導（給食）/自立活動（昼食）				
6	作業学習	作業学習	LHR	作業学習	生活単元学習
7	自立活動（体づくり）		帰りの会	自立活動（体づくり）	帰りの会
8	日常生活の指導（帰りの会）			日常生活の指導（帰りの会）	

■教育課程の特徴

学校生活全体を通して相手を意識し、人と豊かに関わる力を身に付けられるよう学習活動に取り組んでいます。

また、生徒一人一人に応じた課題を設定し、「できた」や「誰かの役に立った」といった気持ちを実感できる学習に取り組んでいます。

□ 自立活動の指導（体づくり）

体の状態に合わせ、筋緊張の緩和、姿勢保持を目的としたストレッチやウォーキングなど、自立活動教諭と連携しながら個別に進めています。

□ 総合的な探究の時間

興味・関心のある活動を選んで、友達と一緒に取り組みます。

□ 作業学習

自助具を使って、「自分でできること」と「できた」という達成感を大切に学習を行います。

□ 生活単元学習

社会や季節、行事等の場面を題材に、様々な活動に取り組めます。

* 登校時間 8:50（月～金）

* 下校時間 15:00（月・火・木）／14:00（水・金）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉的就労（生活介護）～1名
【社会福祉法人北ひろしま福祉会 北広島デイセンター】

学校のWebページ



石狩管内

北海道星置養護学校ほしみ高等学園

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0860 札幌市手稲区手稲山口740番地1
- 問 合 せ 先 TEL 011-681-6500
FAX 011-681-6511
E-mail hoshimi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hoshimi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の思いを大切に、豊かに生きる力を育てる」
- 目指す学校の姿
共に学び、共に育つ学校～信頼・協力・感動～



- 概 要
本校は、星置養護学校の分校として平成26年4月に開校しました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成する学習活動を展開しており、コース制を採用しています。

■特色ある教育活動

ほしみ高等学園の教育目標

小・中学部、中学校で培った力の定着及び拡大を図り、生徒一人一人が卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成するために次の目標掲げる。

- ① 学校生活の学びを通して、見通しを持ちながら、自分で物事を考え、伝える力を育てる。
- ② 周りの人や物事に興味・関心をもち、自己選択を通して主体的に関わる力を育てる。
- ③ 望ましい生活習慣を獲得し、身辺自立に向けて生活する力を育てる。
- ④ 自分の役割を意識し、将来、地域に出て働く意欲や働くために必要な力を育てる。
- ⑤ 周囲と協力しながら、集団の一員としての自覚や責任を持ち、自分の役割を果たす力を育てる。

【コース制の導入】

本人や保護者の希望を重視し、コースを決定します。コース制では、生徒の適性、将来の進路希望等を踏まえて、卒業後の自立や社会参加に必要な力の育成を目指します。

また、学校、家庭、地域において、生徒に自ら主体的に、あるいは支援者とともに自分の生活をデザイン（計画・設計）する力を養います。さらに、生徒一人一人の多様な教育的ニーズに応えるため、各コースにいくつかの「グループ」を編制してきめ細かな指導を行います。

○ ワークデザインコース

- ・「職業」での特色ある学びを通して、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な態度、習慣を育成します。（職業を設定）

○ ライフデザインコース

- ・「作業学習」「表現活動」という体験的な学習を通して、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成します。（総合的な探究の時間（表現活動）を設定）

【卒業後を見据えた現場実習の実施】

第2学年で施設や事業所での実習（5日間）を2回行います。その中から卒業後に利用したい施設・事業所を選択し、第3学年は10日間、卒業後に働くことを前提とした実習を行います。現場実習は、卒業後を想定し、教員が引率せず卒業後に利用する場合と同様の形態（自宅からの通所、入所など）で実施します。



体カトレーニング



ワーク：手芸（職業）



ワーク：木工（職業）



ライフ：美術的表現活動



ライフ：紙すき（作業学習）



ライフ：委託（ミズゴケ管理）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導／SHR				
2	体力トレーニング				
3	美術	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習	生活 単元 学習
4			課題 学習		課題 学習
	日常生活の指導				
5	作業 学習	保健 体育	総合的 な探究 の時間	LHR	音楽
6			日生／SHR		
7	日生／SHR				日生／ SHR

■コース制の週時程表（WORK・LIFE）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導／SHR				
2	体カトレーニング				
3	W：職業 L：作業 学習	生活 単元 学習	W：職業 L：表現 活動	生活 単元 学習	W：職業 L：作業 学習
4		課題 学習		課題 学習	
日常生活の指導					
5	2年 音楽	2年 美術	総合的 な探究 の時間	LHR	2年 保健体育
6	3年 保健体育	3年 音楽	日生／SHR		3年 美術
7	日生／SHR				日生／ SHR

■教育課程の特徴

日常生活の指導や体カトレーニング、作業学習、生活単元学習、課題学習（国語・数学）、職業、音楽、美術、保健体育、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間で教育課程を編成し、社会生活に必要な知識や技能の習得及び意欲、態度の確立を図っています。

- スクールバスについて
札幌市手稲区、西区、北区と石狩市（厚田区と浜益区を除く）には、スクールバスを運行しています。
- コース選択について
卒業後の主体的で豊かな社会生活を送るには、どちらのコースが本人に合っているか、生徒、保護者が検討できるよう、授業参観や保護者懇談等を実施しています。
- 自立活動の指導
自立活動は各教科等を合わせた指導のほか、教育活動全体を通じて、生徒個々の自立活動の目標と各教科等の指導との関連を図りながら、効果的に指導を行っています。

登校時間 8：55（月～金）
 下校時間 14：15（水・木）／15：00（月・火・金）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉的就労（生活介護／就労継続B型／自立訓練）～36名
【あっぱ、という、きどきどこ、あんみワークス、チャレンジキャンパスなど】
- その他～4名【療養介護】

学校のWebページ

石狩管内

北海道札幌伏見支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒064-8514 札幌市中央区伏見4丁目4番21号
- 問 合 せ 先 TEL 011-520-5003
FAX 011-520-5004
E-mail fushimishien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.fushimishien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の可能性や夢に向かって、個性を伸ばし、心豊かに、生き生きと自分の力を発揮できる児童生徒を育てる」
- 校 訓
「夢」「協働」「感謝」「笑顔」



□ 概 要

本校は、平成28年に開校した知的障がいのある児童生徒が対象の特別支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置し、札幌市内に在住する児童生徒が通学しています。児童生徒の障がいに伴う学習上の特性等を踏まえ、「分かりやすさ」「伝わりやすさ」を重視して教育環境を整え、活動の選択や意思表示等の主体的な行動を引き出す学習指導に力を入れています。

■特色ある教育活動

生徒一人一人の個性や能力、学びの特徴等を把握しながら、将来の生活につながる知識や技能等を身に付けるとともに、主体的に判断して行動することができる学習活動に取り組む。

【 選択授業 1、2 】

高等部第2学年から、生徒が自分の学びたいことを選択する選択授業を設定しています。これまで身に付けてきたことや、得意なことを生かし、生徒が主体的に学ぶことができる教育活動を展開することを目的としています。また、自己選択・決定の経験を繰り返すことで、将来、可能な限り、自ら意思決定できる力を育成することを重視しています。

「選択授業1（作業学習）」では、接客サービスとアートクラフトなどの学習を行っています。接客サービスでは、他者との相互的なやりとりをしながら学ぶことができる接客や清掃等のサービス活動に取り組みます。アートクラフトでは、決まった工程や手順等、分かりやすい学習環境の中で学ぶことができる製品加工（紙工、手芸等）に取り組みます。

「選択授業2」では、音楽や美術の学習に取り組み、自分の得意なことを生かしたり、挑戦したりすることを通して、一人一人の興味・関心を広げたり、深めたりしています。また、学習したことを伏見祭で発表したり、地域で展示したりする機会を設けています。

【 地域学校協働学習 】

地域学校協働学習では、「自分の良さを地域の力に」をテーマにして、地域の企業等と連携した教育活動（就労体験）に取り組み、社会とのつながりを感じさせ、自分のやりたいことへの気付きを促したり、活動に対する意欲を高めたりしています。



選択授業1：ふれあいフラワー事業



選択授業1：紙すき(パルプ作り)



音楽：発表会



美術：デザイン画



球技大会：ポッチャ



もいわ山麓ゆきあかり

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/ SHR/ 保健体育	日常生活の指導/ SHR/ 保健体育	日常生活の指導/ SHR/ 保健体育	日常生活の指導/ SHR/ 保健体育	日常生活の指導/ SHR
2	LHR	生活単元 学習	音楽	作業学習	ステップ アップ
3	ステップ アップ				保健体育
4	日常生活の指導（給食準備、後片付け、歯みがき指導等）				
5	生活単元 学習	美術	総合的な 探究の時 間／特別 活動	作業学習	日常生活 の指導 /SHR
6					
7	日常生活の指導／SHR				

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:50 (月～金)

* 下校時間 14:55 (月～木)、13:20 (金)

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心に教育課程を編成しています。また、生徒の興味・関心に基づき、地域の公共施設等を積極的に活用した学習や、地域のひとと協働し、将来の生活に結び付く実践的な学習を行います。

□ 作業学習

作業活動を学習活動の中心とし、体験的、実践的な活動を通して、働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。

□ ステップアップ

日常生活に活用できる力の育成を目指し、個々のねらいに応じて国語(「聞く・話す」「読む」「書く」)に関する内容や数学(お金、時間と時刻、計算など)に関する内容を学びます。

□ 自立活動の指導

個別の指導計画に基づき、学習や生活における学びの困難さから生徒の中心的な課題等を導き出すことで、自ら環境と関わり合う、また自己選択・自己決定を促す指導内容等の目標を設定し、各教科等の指導と関連付けながら学習を行います。

■卒業後の主な進路先について(令和5年度実績)

□ 福祉的就労～12名

【就労継続支援 B型6名、生活介護6名】

□ その他～1名

学校のWebページ



石狩管内

北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：有

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒005-0850 札幌市南区石山東3丁目4番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-591-8811
FAX 011-591-6181
E-mail monami-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ [http:// www.monami.hokkaido-c.ed.jp/](http://www.monami.hokkaido-c.ed.jp/)



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の可能性や夢に向かって、個性を伸ばし、心豊かに、生き生きと自分の力を発揮できる児童生徒を育てる」
- 校 訓
「夢」「協働」「感謝」「笑顔」
- 概 要
本校は昭和39年に札幌養護学校の分教室として開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校で、高等部は平成12年度に設置されました。平成28年度からは札幌伏見支援学校の分校となっています。障がい上の特性、実態を踏まえ、個別に配慮しながら児童生徒の自発的な行動を促す学習を通して、「人間関係をつくる力」「コミュニケーション力」「社会環境への適応力」「はたらく力」「選択・決定する力」を育成しています。



■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 自立し社会生活に必要な知識・技能を身に付ける【知識及び技能】
- 情報を活用し、正しく相手に伝える力を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】
- 地域とつながり、人間関係をつくる力を身に付ける【学びに向かう力、人間性等】

【 作業学習 】

クラフトサービス班、リサイクル班、手芸班の3つの活動班があり、高等部祭に向けて製品づくりを行っています。作業学習を通して課題を遂行する力を伸ばしたり、物を創り出すことの成就感を味わったりしながら、働くことの大切さを感じ、責任感、働く意欲、生活する力などを育成しています。

【 校内実習 】

総合的な探究の時間の中で、校内実習を年2回実施しています。「もなみワークス」の名称で、校内や地域資源を活用し、清掃活動や、冬季に使用する滑り止め用の砂である「コロバース」の製造などを行っています。活動を通して、働く喜びを感じ、自己を見つめ、自らの生き方を展望し社会生活に必要な態度を育みます。

【 現場実習 】

社会で働くことや卒業後の生活について見通しをもつため、また、作業学習等で身に付けた力を実際の職場や福祉事業所で発揮する機会として、現場実習を行っています。現場実習を通して、卒業後の進路選択の幅を広げたり、自己の適性等を理解したりします。



もなみワークス：花壇整備



もなみワークス：キャンドル作り



もなみワークス：排水溝清掃



クラフトサービス班：小物入作り



リサイクル班：紙漉き作業



手芸班：ヨーヨーキルトゴム作り

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
	登校・SHR				
1	日常生活 の指導	国語・数学 ／ 自立活動	国語・数学 ／ 自立活動	国語・数学 ／ 自立活動	国語・数学 ／ 自立活動
2	体力づくり				
3	国語・数学	生活 単元 学習	音楽	生活 単元 学習	美術
4					
5	作業 学習	保健 体育	LHR	作業 学習	生活 単元 学習
6					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

- * 登校時刻 8：50（月～金）
- * 下校時刻 15：10（月・火・木）／14：20（水・金）

■教育課程の特徴

- 作業学習
クラフトサービス班、リサイクル班、手芸班に分かれて学校祭に向けた製品づくりを行っています。作業学習を通して成就感を味わい、責任感、働く意欲、生活する力を育成するとともに、社会生活に必要な基礎的な知識や技能、態度を育てています。
- 自立活動の指導
コミュニケーション手段の獲得、選択する力、いろいろな人と関わる力を身に付けるため、火曜日～金曜日の1校時に設定しています。個別や集団など内容に応じて様々な教材を工夫し、ICTを活用しながら取り組みます。
- 国語・数学
国語では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する力を育成します。生活で必要な人と関わる力や伝える力が高まるよう取り組みます。
数学では、数学的活動を通して、数学的に考える力を育成します。数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解するとともに、数学で学んだことを生活に活用できるよう、取り組みます。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉施設入所～ 5名【グループホーム5名】
- 福祉施設通所～ 1名【生活介護1名】

学校のWebページ



石狩管内

北海道札幌高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0829 札幌市手稲区手稲前田485番地3
- 問 合 せ 先 TEL 011-685-7744
FAX 011-685-7745
E-mail sakkouyou@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporokoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自ら学び考え 豊かな生活を切り拓き
たくましく生きる生徒を育成する」
- 校 訓
「自 立」「協 同」「創 造」



- 概 要
本校は平成10年に開校した高等養護学校です。札幌市内の生徒を中心に、石狩管内及び後志管内等の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性や課題等を踏まえ、作業学習や各教科等の学習を通して、生活に生きて働く知識や知恵を持ち、目標をもって学び考え、課題を解決する生徒の育成を目指します。寄宿舎では集団生活を送る中で、基本的生活習慣の定着や社会性の育成を図っています。

■特色ある教育活動

【 作業学習 】

所属する学科（農業科、窯業科、木工科、家庭総合科、クリーニング科）の作業を3年間行い、積み重ねの指導を基本とします。自学科作業では、生産から製品管理、販売までの一連の活動を体験したり生徒同士が教え合い、協力して作業に取り組んだりしています。

生徒個々の課題を解決し働く力を高めるために、必要に応じて自学科以外の作業（他の作業種や受注作業等）を取り入れています。

【 進路学習 】

進路学習（職業）は、現場実習や進路見学、卒業生講話等と関連させながら、自己の生き方について考えたり、社会人としての適切な身だしなみや職場でのマナーなどを学習します。生徒が得た知識や技能を職業生活に生かし、活用できる力を身に付けることを目指します。

【 地域との連携 】

生活に必要な実践的な学習を行うため、外部講師による作業指導や、就労に向けて働くことや生活することを考える機会として、札幌市教育委員会、就労支援コーディネーター、障がい者雇用推進アドバイザーによる職業ガイダンスなど、地域から講師を招いた授業を行っています。

また、製品販売会や交流及び共同学習を通して、人と関わる経験を重ね、卒業後に生活する地域とのつながりを大切にしています。



農業科



窯業科



木工科



家庭総合科



クリーニング科



寄宿舎

■第1学年生徒の週時程表

【農業科・窯業科・木工科A組】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	道徳	作業学習	作業学習	作業学習	職業
3	情報				国語
4	音楽				家庭
5	保健体育	美術	国語	数学	
6			家庭	理科	

【木工科B組・家庭総合科・クリーニング科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	道徳	作業学習	作業学習	作業学習	職業
3	音楽				家庭
4	数学				国語
5	美術	保健体育	家庭	理科	
6			国語	情報	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8時50分(月～金)

* 下校時間 15時25分(月・火・木) / 15時05分(水) / 13時45分(金)

■教育課程の特徴

「働く力」「生活する力」それを支える「体力」をバランスよく育成する教育課程が特徴です。

作業学習を教育課程の中核に据え、国語や数学など、各教科の学習と合わせて教育課程を編成しています。

□ 体力づくり

体力づくりは、将来の働く生活に必要な基礎体力の向上と健康の保持増進を図ることを目指します。

継続的に体を動かす中で、自己の体力や変化を実感し、自己への気付き(自己理解)につなげていきます。

□ 教科グループ別の学習集団

数学、社会(2年のみ)、理科(1年のみ)、音楽、情報は、生徒の実態に応じた学習グループを編成しています。学習内容や学習の手立てをグループごとに整え指導します。

□ 自立活動の指導

作業学習のほか、教育活動全体を通して指導しています。前期・後期の面談週間で一人一人の課題や目標を確認し、自己実現につなげます。

■卒業後の主な進路先について(令和5年度実績)

- 一般就労(就労継続支援A型含む)～25名
【スーパー、自動車販売会社、菓子製造、清掃、運送、介護など】
- 福祉的就労(就労移行支援/就労継続支援B型)～21名
【就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所】
- その他～2名【進学】

学校のWebページ



石狩管内

北海道札幌稲穂高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0034 札幌市手稲区稲穂4条7丁目12番1号
 □ 問 合 せ 先 TEL 011-695-6922
 FAX 011-695-6951
 E-mail inahokoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
 □ 学校Webページ <http://www.inahokoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
 「夢に向かって 心豊かに カー杯躍動する 生徒を育てる」
- 校 訓
 「夢（稲穂ドリームの実現） 心（稲穂スピリットの育成）
 力（稲穂パワーの発揮）」



□ 概 要

本校は平成23年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業や教科などの学習により、生徒一人一人が社会の中で自分らしく生きていくための実践的な能力や可能性を伸ばします。それぞれの夢に向かって、生活年齢に応じた豊かな心を育みながらカー杯躍動できる学校生活づくりを目指しています。

■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 木工科 環境・流通サポート科 家庭総合科）

本校が目指す生徒像

- ・生徒一人一人が自分の願いや希望をもち、目標に向かって主体的に活動する生徒を育てる。
- ・自分の将来の生活をイメージしながら、社会の一員として自立し、働くことのできる生徒を育てる。

【 生徒一人一人のキャリア発達を支援する教育活動 】

- ・作業学習を教育活動の中心に据え、段階的・発展的に現場実習などに取り組みます。
- ・社会の状況や学校、地域、生徒の実態を踏まえた各教科の学習に取り組みます。
- ・一人一人の教育的なニーズを考慮し、主体的・協働的に取り組むことができる学習グループを編成しています。
- ・生徒が「学ぶこと」の意義や面白さを実感でき、自分への気付きを深める教育活動（各行事の事前事後学習、生徒面談などを通した「言語化」）に取り組みます。

【 作業学習 】

- ・生産技術科は、様々な素材を主材料とする製品の製造や、地域資源を活用した学習に取り組みます。
- ・木工科は、木材を主材料とする製品の製造や、生産の基本的な流れについての学習に取り組みます。
- ・環境・流通サポート科は、清掃等の環境づくりや、商品管理、事務などの学習に取り組みます。
- ・家庭総合科は、布製品の製作、手芸、調理、住居の管理などの体験的な学習に取り組みます。

【 選択教科（音楽科／美術科）第2、3学年 】

- ・生徒の個性を生かし、主体的に学習に取り組めるよう、自由に選択履修できる機会を設けています。
- ・音楽科は、歌唱や楽器演奏、読譜法など、音楽に関わる基礎的な知識及び技能の習得を図りながら、表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への興味・関心を高めることを目標にしています。
- ・美術科は、身近な材料・題材を扱う造形活動を通して、表現及び鑑賞能力を高め、自他の表し方や感じ方の良さに気付き、美術に対して自信をもって主体的に取り組むことを目標にしています。



生産技術科：紙工作業



木工科：組立作業



環境・流通サポート科：清掃作業



家庭総合科：布製品の製作



選択教科：音楽



保健体育：短距離走

■第1学年生徒の週時程表

【 学年共通 (教科グループ：A) 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	情報	作業 学習	保健 体育	作業 学習	数学
2	国語/ 数学				家庭
3	保健 体育		美術		国語
4			音楽		理科
5	作業 学習	教科調 整時間	外国語	職業	LHR/ 道徳
6		総合的な 探究の時間	社会	(隔週) 生徒会	

【 学年共通 (教科グループ：C) 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	国語/ 数学	作業 学習	保健 体育	作業 学習	国語
2	職業		美術 音楽		社会
3	保健 体育				数学
4					家庭
5	作業 学習	教科調 整時間	情報	理科	LHR/ 道徳
6		総合的な 探究の時間	外国語	(隔週) 生徒会	

* 登校時間 8：40 (月～金)

* 下校時間 15：35 (月～水) / 14：40 (木・金) ※木は隔週 (15：35)

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、生活に即した内容を学ぶ各教科の学習、特別活動及び総合的な探究の時間によって教育課程を編成しています。

□ 作業学習

生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な知識及び技能、態度の基礎を身に付けることをねらいとしています。地域の方々と交流を深め、地域資源を活用した学習に取り組んでいます。生徒一人一人のキャリア発達を促すため、作業の意味や価値について丁寧に指導し、勤労観・職業観の育成を図ります。

□ 現場実習

第1学年で引率実習(1回)、第2学年で単独実習(2回)、第3学年で前提実習(1～2回)を実施し、生徒が学ぶ意義や働く意義を見いだして主体的に進路選択ができるよう、段階的な指導を行います。

□ 自立活動

朝に短時間で設定している自立活動では、健康への意識を高めたり、心理的な安定を図ったりする学習に取り組んでいます。

また、「各教科等を合わせた指導」においても生徒一人一人の実態に応じた目標や指導方法を設定しているほか、教育活動全体を通して、自立活動に取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について(令和5年度実績)

- 就職(一般就労、就労継続A型)～4名【流通業、製造業、小売業など】
- 福祉的就労～16名【就労移行支援、就労継続支援B型など】
- 進学、その他～0名

学校のWebページ



石狩管内

北海道札幌あいの里高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-770-5511 (代表)
- FAX 011-770-5512
- E-mail ainosatokoshi-z1@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.ainosatokoshi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「Go for your dream.
『夢のために、ベストを尽くす』
～今の自分を超え、より高みをめざそう～」

- 校 訓
「未来・チャレンジ・感謝」

- 概 要
本校は、平成28年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。本校は、「職業学科」と「普通科」を設置しており、それぞれの学科において、生徒の教育的ニーズや学習上の特性等を考慮して教育活動を展開しています。
福祉と文教の地域であるあいの里の特色を生かし、地域と学校が協働した取組の他、周辺施設を活用した実習やインターンシップなど、生徒の自立と社会参加を目指した教育活動を行っています。



■特色ある教育活動

- 学ぶ楽しさを体感し、自ら課題を見つけ、考え、行動し、努力し続ける生徒を育てる。
- 個性・能力を生かし、他者と協力しながら、北海道の未来を創造し続けることのできる生徒を育てる。

【 生産技術科 】

作業学習では、木材や粘土を用いた製品を製作します。小鉢、コーヒーカップ、茶碗、キッチンペーパー、フォトフレーム、ベンチなどを製作し、地域向け販売会や学校祭で製品を販売しています。

【 環境・流通サポート科 】

作業学習では、ビルクリーニングや印刷・製本、受注作業などの学習を行っています。学習した清掃技術の実践の場として、近隣施設を清掃したり、アビリンピック（障害者技能競技）大会に挑戦したりしています。

【 被服デザイン科 】

作業学習では、ミシンを使った布製品や、卓上織機を使った手織り製品を製作します。藍の化学染料で布を染め、製品を製作することも行っています。地域向け販売会や学校祭で製品を販売しています。

【 食品デザイン科 】

作業学習では、焼菓子やパンの製造・販売の学習と、縫工に関する学習を行っています。製品は、地域向け販売会や学校祭で販売しています。

【 福祉サービス科 】

作業学習では、接客・サービスと介護・福祉の学習を行っています。また、地域向け販売会におけるカフェ、高齢者施設への訪問、ハンドマッサージなど、実践的な学習にも取り組んでいます。

【 普通科 】

総合的な探究の時間において、自ら課題に気付き、必要な情報を収集し、整理・分析しながら、課題解決する力を身に付けます。インターンシップやワークシステム、個人やグループによる調査・研究・発表、大学等様々な学校や地域との交流学习等の単元に取り組む中で、自立と社会参加に向けて必要な資質・能力が身に付くように学習に取り組んでいます。



生産技術科：木工作業



被服デザイン科：布製品の製作



福祉サービス科：介護技術練習



環境・流通サポート科：校内清掃



食品デザイン科：製パン作業



普通科：総合的な探究の時間

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科 】

	月	火	水	木	金
1	社会生活	作業学習	体力 づくり	情報	外国語
2	体力 づくり		作業学習	音楽	国語
3	音楽			保健体育	数学
4	数学				理科
5	職業	家庭	美術	作業学習	社会
6	LHR/ 委員会	国語			LHR

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	社会生活	情報	体力 づくり	家庭	理科
2	体力 づくり	社会	総合的 な探究 の時間	国語	音楽
3	数学	国語		美術	保健体育
4	理科	外国語			
5	職業	音楽	数学	総合的 な探究 の時間	国語
6	LHR/ 委員会	数学	社会		LHR

* 登校時間 8:50 (月～金)

* 下校時間 15:15 (月～金) *部活動は火曜・木曜を基本に16:45まで実施。

■教育課程の特徴

□ 職業学科と普通科

職業学科は、製品の製造や販売、サービスに関する内容等、体験的な学習を中心に働く意欲を養い、働くために必要な力を総合的に学びます。

普通科は、各教科等の学習と総合的な探究の時間を中心に学習に取り組み、課題に気づき、解決する方法を考え、実践する力を身に付けます。

□ 教科別の指導

知的障がい特別支援学校の各教科の学習に取り組みます。各教科等の特性に応じて、課題別に学習グループを編制して学習に取り組みます。

□ 自立活動の指導

学習上、生活上の困難さを自ら改善・克服するために必要な力が身に付けられるよう、「社会生活」や「体力づくり」、「作業学習」において、生徒の自立活動の目標に関連する場面で指導や評価を行うほか、教育活動全般における自立活動の指導にも力を入れます。

□ 地域と共に歩む教育活動

地域と学校が連携・協働して「あいcircle」を実施しています。参加者それぞれが主役になって自己実現できる場、様々な人が必要とされて関わり合える場を目指し、本校生徒も主体的に参加しています。地域の企業や商店、事業所の方、大学生、PTA等で協働して運営し、たくさんの地域住民に参加いただいています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 就職～29名（一般就労24、就労継続A型5）【小売業、介護補助、清掃業など】
- 福祉的就労～19名（就労移行支援2、就労継続B型16、自立訓練1）
- 進学～1名（大学）

学校のWebページ



石狩管内

北海道千歳高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒066-0045 千歳市真々地2丁目3番1号
- 問合せ先 TEL 0123-23-6681
FAX 0123-23-6682
E-mail chitosekoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「志を持って社会を創る人間の育成」

- 校訓
「挑戦」「創造」「協働」

- 概要

本校は、平成25年に開校した高等支援学校です。知的障がいのある生徒が、学校や家庭、地域での生活の中で、将来の社会生活に必要な働く力や生活する力などを養うことを目的とし、2つの学科で学習を行っています。

本校は通学型の学校です。通学の機会を通して、公共交通機関の利用やルール、マナー及び天候や状況に応じた対応などを学んでいます。



■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 環境・流通サポート科）

【 現場実習の充実 】

地域の企業や福祉サービス事業所などと連携を深め、3年間で最大7回の現場実習を設定し、職種に関わる適性を生徒自身が感じられる職業教育に取り組みます。

【 地域を生かした活動の充実 】

学校で学んだ力を地域で活動する中で発揮する場面を設定し、本物の力が身に付けられるよう指導しています。デュアル実習（千歳高支版デュアルシステム）では、近隣の企業等で一定期間繰り返し実習を行うとともに、実習で明らかとなった具体的な課題や今後の目標を校内での日々の学習に反映させ、確かな力を育てています。

また、実践を通して流通の過程が学べるよう、計画的に即売会を実施しています。即売会は、言語活動の充実を含めた日々の取組と関連付けた貴重な指導の機会として位置付けています。

【 言語活動の充実 】

言語に対する関心や理解を深め、言語能力を育成するため、言語環境の整備や言語活動の充実を図ります。定期的に行っている生徒個別面談や進路面談では、生徒自身が内面の変化や成長を実感できる関わりを大切にすることで、自己有用感や自己肯定感を高め、進路選択や進路決定につなげています。



生産技術科：革製品づくり



生産技術科：木工製品づくり



特設実習：駐車場のライン引き



環境・流通科：地域施設の清掃



環境・流通科：メモ帳の製本



デュアル実習：企業での実習

■第1学年生徒の週時程表

【 生産技術科 】

	月	火	水	木	金
1	体力づくり ・自立活動		自学科 実習	体力づくり ・自立活動	
2	社会／ 理科	国語		情報	数学
3	数学	保健 体育		美術	自学科 実習
4	音楽			家庭	
5	自学科 実習	他学科 実習	職業／ 総合的 な探究 の時間	国語	LHR
6				国際文化 ／委員会 ・生徒会	

【 環境・流通サポート科 】

	月	火	水	木	金
1	体力づくり ・自立活動		自学科 実習	体力づくり ・自立活動	
2	社会／ 理科	国語		家庭／ 美術	数学
3	数学	保健 体育		情報／ 家庭	自学科 実習
4	音楽			美術／ 情報	
5	自学科 実習	他学科 実習	職業／ 総合的 な探究 の時間	国語	LHR
6				国際文化 ／委員会 ・生徒会	

* 登校時間 8：45（月～金）

* 下校時間 15：25（月～木）／14：25（金）

■教育課程の特徴

国語や数学などの各教科の学習を中心に、専門教科・作業学習などで教育課程を編成しています。各教科では基礎的な学力の育成とともに、将来の実生活で活用できる力を養うことができるように学習を行います。国際文化の授業では、外国語と外国の文化（社会）を学習します。

現場実習や地域での実習など、地域資源を活用した教育活動に、全学年で積極的に取り組んでいます。作業学習の時間に企業等で行うデュアル実習を実施しています。

□ 専門教科・作業学習

第1学年では、専門教科とし、自分が所属する学科や所属以外の学科での実習を行い、働くための基礎となる力を培います。第2、3学年では、作業学習とし、職業生活に必要な知識や技能、実践的な態度を育てます。また、地域で積極的に作業を展開することを通して、実践的な力を育成しています。

また、第2学年では生徒に実態や課題に応じて学習集団や作業内容を設定した特設実習を行います。

□ 自立活動の指導

生徒が自分自身を見つめ、自己理解や他者理解を深め、進路選択や決定ができるよう、個々の自立活動の目標を考慮して、定期的に生徒面談を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～10名【小売業、製造業、運輸業など】
- 福祉的就労（就労移行支援／就労継続支援B型）～8名
- 進学～3名
- その他～1名

学校のWebページ



石狩管内

北海道白樺高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■ 学校の基本情報

- ☐ 住所 〒061-1264 北広島市輪厚621番地1
☐ 問合せ先 TEL 011-376-2353
 FAX 011-376-2024
 E-mail shirakabakoutouyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.shirakabakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■ 本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「自己の能力を伸ばし 心豊かに たくましく生きる人を育てる」
☐ 校訓
 「自主」「自立」「自省」
☐ 概要



本校は昭和40年に、全国で初めて職業学科を設置する高等部の特別支援学校として開校し、今年度で開校60年目を迎えました。知的障がいのある生徒に、学校や社会の中で「生活する力」「働く力」を養うことを目的とし、六つの学科を設置しています。また、寄宿舎を設置しており、集団生活の中で基本的生活習慣を身に付けたり対人関係等を学んだりして、社会自立する力を養っています。入舎期間は1年単位で、入舎・通学を選ぶことができます。

■ 特色ある教育活動

(設置学科：生産技術科 窯業科 木工科 工業科 家庭総合科 クリーニング科)

自主、自立、自省の姿を身に付け、青年期の人格形成を図る知識や技能を習得する。

【 作業学習 】

3年間で複数の作業種を学習します。様々な作業種を経験することにより、経験の拡充を図り、適応力を身に付けるとともに、進路選択に対する関心を高めます。第1学年は、全学科で紙工作業に取り組み、挨拶や返事、報告などの基礎・基本を学びます。第2学年からは、学科に応じた作業種に取り組みます。

【 体力づくり 】

毎日1校時に、屋外で2.5kmのマラソンを行います。冬期間や悪天候時には、屋内で筋力トレーニングやエアロビクス運動を行い、たくましい心と体を育成します。

【 進路に関する取組 】

○ 労働週間

長い時間働く力を身に付けることを目的に、1週間全ての授業で作業学習を行う労働週間を前期と後期に1回ずつ設定しています。全学年が対象です。

○ 職場実習

- ・第2学年は前期1週間、後期2週間、企業等で体験実習を行います。生徒の実態に応じて、教員が引率する実習、グループでの実習、個人での実習の3形態で行います。
- ・第3学年は4週間、卒業後の進路決定を前提とした実習を行います。



全学科：紙工作業



工業科：歩道平板づくり



体力づくり：マラソン



音楽：ギター



職場実習：食品加工



現場実習：スーパー

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金		
1	体力づくり						
2	作業学習	国語	数学	国語／数学	社会	理科	作業学習
3		数学	情報	作業学習	音楽	社会	
4		情報	国語		理科	音楽	
5	保健体育 美術／家庭	美術／家庭	保健体育	総合的な探究の時間	LHR		
6							

※ LHRはロングホームルーム

■教育課程の特徴

- 作業学習
3年間で複数の作業種を学習することで、経験を広げ、自己理解を深めます。また、卒業後の進路に向けて第2学年で2回（前期1週間、後期2週間）、第3学年で1回（4週間）の現場実習を行います。
- 体力づくり
毎日、1校時に体力の向上を目指して行います。5月頃から10月頃までは、屋外でマラソンなどの運動を行い、冬期間や悪天候時は、屋内で筋力トレーニングやエアロビクスなどの運動を行います。
- 進路
進路の学習は、職業や進路、将来に向けた自己の生き方などについて考えることを通して、社会の中で生きる力を育むことをねらいとしています。作業学習や職場・福祉サービス事業所見学、現場実習などに関連付けて行います。
- 自立活動の指導
心身の調和的発達の基礎を培うことを目標に作業学習や体力づくりのほか、教育活動全体を通して行います。

- * 登校時間 8:50（月～金）
- * 下校時間 14:20（金）15:20（月～木）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 就職（就労継続A型含む）～25名【小売業、運輸業など】
- 福祉的就労（移行支援／就労継続B型／自立訓練）～20名
- 進学 ～1名【はまなす食品株式会社能力開発センター】

学校のWebページ



石狩管内

北海道新篠津高等養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒068-1115 石狩郡新篠津村第45線北13番地
- 問 合 せ 先 TEL 0126-58-3280
- FAX 0126-58-3281
- E-mail shinko-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「豊かな心と つよい体をもって たくましく自立する 生徒の育成」

□ 校 訓

「すすんでやりぬく人」

□ 概 要

本校は、平成5年に開校した知的障がいのある生徒を対象とする高等養護学校で、全校で119名の生徒が在籍しています。本校では、生徒の学習上の特性等を踏まえ、専門教科や実地的な学習などの授業を展開することにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、「主体的に学びを深め、豊かな心とつよい体をもった生徒」を育成しています。寄宿舍では、多くの仲間との生活を通して、規則正しい生活習慣の確立と感謝する心や思いやる心の涵養、他と協調できる力の育成を目指して共同生活をしています。



■特色ある教育活動

【 園 芸 科 】

畑や温室で野菜、豆類、花の栽培に取り組みます。屋外での作業を通して、体力を付け、卒業後の生活に適應できる能力や態度、習慣が身に付くように取り組みます。

【 生産技術科 】

コーヒー豆加工と紙工作業を中心に取り組みます。地域へコーヒー豆を出品することを通し、達成感を味わい、働く経験が豊かになるように取り組みます。

【 窯 業 科 】

茶碗、さんま皿などの小物から、麵鉢、大皿などの大きな食器の製作などに取り組みます。製品は新篠津村の温泉施設で販売を行うなど、流通に関わる学習にも取り組みます。

【 木 工 科 】

2×4材(ツーバイフォーざい)による製品製作などを行い、易しい題材から難しい題材へと発展的に学習内容を設定しています。働く力を育成することを第一に考えた学習に取り組みます。

【 家庭総合科 】

縫工や調理など、生活に関連した内容を主とした作業学習を展開します。製品販売では接客を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、生徒の自己肯定感を養う学習に取り組みます。

【 クリーニング科 】

おしぼり加工、アイロン掛け、機械プレス等のクリーニング作業に取り組みます。自ら働く力を育成し、最後まであきらめない力を養います。



園芸科：野菜の手入れ



生産技術科：コーヒー豆の選別



窯業科：小鉢の製作



木工科：スツールの組み立て



家庭総合科：アイロン掛け



クリーニング科：おしぼりの処理

■第1学年生徒の週時程表

【（例）園芸科及び生産技術科】

	月	火	水	木	金
1	総合的な探究の時間	国語	体力づくり	体力づくり	実的な学習の時間
2	専門教科	専門教科（他学科）	保健体育	保健体育	専門教科
3			国語	音楽	
4			数学	職業／情報	
5	実的な学習の時間	実的な学習の時間	音楽	道徳	LHR／生徒会活動
6			自立活動	数学	
放課後	部活動			部活動	

■教育課程の特徴

専門教科を中心に、実的な学習の時間や国語、数学、音楽、保健体育などの各教科の学習に取り組んでいます。

□ 専門教科

所属する学科での実習を通して、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。1学年では所属する学科のほか、他の学科の実習を一定期間体験し、作業能力の向上を図ります。

□ 実的な学習の時間

主に、社会的、理学的、家庭的な内容を取り扱い、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために一連の活動を組織的に経験することにより、自立した生活に必要な事柄を実際の、総合的に学習します。

□ 自立活動の指導

生徒自らが、障がいに基づく困難を改善・克服するために、週に1時間（2、3学年は、週に0.5時間）の自立活動の時間や、その他の学習生活全般で、改善・克服できる知識・技能、態度などを学んでいきます。

* 登校時間 8：30（月～金）

* 下校時間 15：35（月・火・木）／15：20（水）／14：25（金）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～22名
【製造業4、運輸業・物流業3、小売業5、介護2、就労継続支援A型8】
- 福祉的就労～20名【就労移行支援3、就労継続支援B型16、自立訓練1】
- 進学～3名【能力開発センター2、北海道障害者職業能力開発校1】
- その他～なし

学校のWebページ



後志管内

北海道余市養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒046-0023 余市郡余市町梅川町377番地3
- 問 合 せ 先 TEL 0135-23-7831
FAX 0135-23-6199
E-mail yoichiyugo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyugo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 目指す児童生徒像
 - 主体的に学び 活かそうとする 児童生徒
 - 伝え 認め合い 協働しようとする 児童生徒
 - 自分の力を発揮し 社会参加しようとする 児童生徒
- 概 要



本校は平成3年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小樽市在住の児童生徒を中心に後志管内から児童生徒が通学しています。小学部35名、中学部17名、高等部34名、訪問部23名の合計109名が在籍しています。訪問部は在宅が2名と北海道済生会小樽病院みどりの里に入所している児童生徒が21名です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、「分かる」「できる」「いきる」指導の充実を目指した学習に取り組んでいます。卒業後の自立と社会参加を目指し、家庭や地域社会等と連携し、一人一人の将来を見据え「生きる力」「生きる喜び」を確かに育むために、「今」の教育の充実を図っています。

寄宿舎には、遠隔地に居住する児童生徒が、10名入舎しています。個々の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めながら、基本的生活習慣の確立を目指しています。また、行事への参加や余暇活動を通して心の安定を図り、豊かな生活につながるよう努めています。

■特色ある教育活動

- ア 社会生活に必要な、知識・技能を身につけ、健康な体と態度を育てる。
- イ 積極的に人と関わり、自己を表現し、他者と協力して活動する力を育てる。
- ウ 自ら選択し、意思決定しながら、主体的に社会参加し、豊かに生活する力を育てる。

【 国語、数学 】

国語では、「読む」「書く」「話す」「聞く」、数学では、「金銭」「時間」「計算」など日常生活に必要な基礎的な内容の習得に取り組めます。こうした内容を、実際の生活や具体的な活動と関連付けて学ぶことを大切にしています。

【 職業 】

職業では、作業活動を学習の中心とし、ものづくりの喜びを体感するとともに、将来の職業生活や社会自立に必要な知識や技能、態度や働く意欲を身に付けられるよう取り組みます。

- (ア) 製品づくりや製品販売学習を通した、将来の働く生活への意識の涵養やいろいろな人との関わり方に関する力の育成
- (イ) 現場実習を通した日頃の学習の成果の確認や、卒業後の生活への関心の育成
- (ウ) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方に関する力の育成

【 自立活動 】

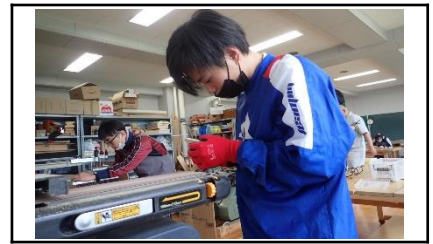
自立活動を時間割に位置付け、生徒一人一人の良さや課題に着目しながら、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善するための指導に取り組めます。



総合：ALTとのオンライン交流



自立活動の指導：身体の動き



職業：木工作業



職業：紙すき作業



数学：PCを活用した図形学習



保健体育：体育記録会のリレー

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級／重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動の指導・朝のSHR				
2	国語／数学	自立活動	国語	自立活動	数学
3	総合的な探究の時間	職業	音楽	職業	生活単元学習
4	(普通)保健体育(重複)自立活動	職業	(普通)保健体育(重複)自立活動	職業	生活単元学習
5	日常生活の指導				
6	自立活動・帰りのSHR	生活単元学習	自立活動	美術	LHR
7		自立活動・帰りのSHR		自立活動の指導・帰りのSHR	

月曜日2校時の国語／数学は隔週

* 登校時間 8:55 (月～金)

* 下校時間 14:30 (火・木・金) / 13:30 (月・水)

■教育課程の特徴

学校生活で身に付けた力を将来の社会生活や家庭生活の場で発揮できるよう、地域資源を活用し、人々との交流を重視した体験的な学習に取り組みます。また、生徒一人一人の学習状況や到達の度合に応じた学習活動を行っています。

□ 自立活動の指導

「身体の動き」「コミュニケーション」「人間関係の形成」を中心とした指導のほか、生活単元学習や日常生活の指導と関連付け、生徒の良さや課題に応じた学習に取り組んでいます。

□ 各教科の学習

国語、数学、音楽、美術は、学年ごとに指導を行っています。保健体育や職業は、生徒の目標等に応じて、学部全体を複数のグループに分け、指導を行っています。

□ 現場実習

生徒が事業所に通い、作業等を体験しています。

- ・第1学年3日間、学校周辺の事業所で引率実習
- ・第2学年5日間、居住地の事業所で単独実習
- ・第3学年10日間、卒業後の進路希望先で実習

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

□福祉的就労～15名

【移行支援・就労継続B型3名、生活介護4名、療養介護等8名】

学校のWebページ



後志管内

北海道余市養護学校しりべし学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒048-0101 寿都郡黒松内町黒松内564番地
- 問 合 せ 先 TEL 0136-72-3903
FAX 0136-72-3903
E-mail yoichiyougoshiribeshi-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyougoshiribeshi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 校 訓
「明るく元気な子ども」「優しくかしこい子ども」
「たくましく頑張る子ども」



□ 概 要

本校は、昭和54年に障がい児入所施設「しりべし学園」の児童生徒が通うために開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、生活単元学習、作業学習、地域との交流などを通して、地域の中で豊かに生活し、社会生活に必要な知識や技能、主体的に取り組む力を養うための教育を行っています。

■特色ある教育活動

目標

「地域の中で豊かに生活し、たくましく社会自立・貢献する力を育てる」

- ・社会生活や職業生活の中で必要な知識や技能 <知識及び技能>
- ・社会生活や職業生活の中で自ら考え多様な役割を果たす力 <思考力、判断力、表現力等>
- ・社会生活や職業生活の中で自分らしく地域や社会に貢献する力 <学びに向かう力、人間性等>

【生活単元学習】

運動会や学習発表会等の行事の学習のほか、学級や学部全体で地域の自然豊かな資源を生かした様々な単元の学習に取り組みます。

《主な学習活動》

- ・町内の施設の活用（自然体験情報センターやふれあいの森情報館、パークゴルフ場など）
- ・町内の清掃活動（駅や学校周辺の清掃）
- ・ブナ林や鳥、花の観察や記録

【作業学習】

園芸・農業、リサイクル、軽作業、除雪、製作に取り組みます。2週間の現場実習では、第1学年は、校内実習、第2学年は、町内引率体験実習、第3学年は、生徒一人で行う体験実習又は卒業後に働くことを前提とした実習を行います。

《主な学習活動》

- ・畑での野菜の栽培、花壇の手入れ、キャンドルのリメイク作業
- ・空き缶やペットボトル、古紙などのリサイクル作業
- ・学校の敷地内の除雪作業

【総合的な探究の時間】

寿都高等学校の生徒とレクリエーションや制作学習を通じた交流及び共同学習、商店や公共施設の利用、地域の自然に触れる学習などに取り組みます。



生活単元学習：野外活動



作業学習：リサイクル・軽作業



総合的な探究の時間：地域との交流



保健体育：歩くスキー



作業学習：除雪（ボランティア）



総合的な探究の時間：調べ学習

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	国語・数学				
2	体力づくり				
3	作業学習	作業学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習
4					
5	自立活動	保健体育	音楽	美術	保健体育
6	生活単元学習	日常生活の指導	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導
7	日常生活の指導			日常生活の指導	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 9:00（月～金）
* 下校時間 15:10（月・木）
／14:20（火・水・金）

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、体力づくり、日常生活の指導を中心的な学習として、音楽や美術などの教科の学習、自立活動の時間等を適切に配置し、関連付けながら教育課程を編成しています。卒業後の社会生活を見据え、一人一人のキャリア発達を促す教育活動を展開しています。

- ☐ 作業学習
働くことへの意欲を高め、協力して取り組む力や、働くために必要な知識や技能、態度及び習慣など育成することを目指した学習に取り組みます。
- ☐ 保健体育
運動経験の拡大や、健康・安全についての理解を通して生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てます。冬季は、自然豊かな環境の中で「歩くスキー」を行っています。
- ☐ 体力づくり
心身の健康の保持増進を目指して、基礎的な運動に継続して取り組んでいます。持久走やストレッチ運動、バランスボールを使った体ほぐし運動、サーキットトレーニングなどを行い、筋力や体幹の向上、基礎体力の向上を図ります。
- ☐ 自立活動
様々な場面で用いられる表現（挨拶や敬語）方法をなどを考えたり、適切な使い方を学びます。また、日常生活の指導では、体重や体脂肪を測定するなど、自身の健康管理への意識付けを行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- ☐ 福祉的就労（就労継続支援B型）
～4名【飲食業、クリーニング作業、清掃業など】

学校のWebページ



後志管内

北海道小樽高等支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒047-0261 小樽市銭函1丁目10番1号
☐ 問合せ先 TEL 0134-61-3400
 FAX 0134-61-3430
 E-mail otarukoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.otarukoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「豊かな心を持ち 力をあわせて 生き生きと活動する生徒を育てる」
☐ 校訓
 「感動」「協働」「躍動」
☐ 概要



本校は平成21年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。今年度は139名の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習、各教科、進路の学習などにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、将来、社会人・職業人として必要な力を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、集団生活を通し、自主的・自律的に生活する力の定着を図っています。

■特色ある教育活動

今年度の重点目標 「OKSスマイルプロジェクト」でつなぐ
 ～OKSスマイルプロジェクトを通じて、学校づくり、人づくり、まちづくりのために生徒・教職員・保護者等・地域が相互につながります。～
 ※OKSスマイルプロジェクトとは、学校を彩ることを通して情操豊かな心とお互いを思いやる気持ちを育むこと

- 各学科の作業学習と『地域を生かした教育活動』について
- 【生産技術科】
牛乳パックから手すきの和紙を作り、様々な紙製品に加工する紙工実習を中心に、グラスやクリアホルダーに文字などを加工するサンドブラスト実習を行っています。また、焼き物を作るセラミック実習、花壇を整備する園芸実習、清掃実習を行っています。
- 【木工科】
木材を使って木べらやラック、トレー、ベンチなどの製作を行い、学校祭などの行事で販売しています。また、地域の小学校の児童と木工製品作りを通じた交流学習にも取り組んだり、地域の会社から依頼された製品を作ったりしています。
- 【環境・流通サポート科】
校舎の清掃活動、学校要覧などの印刷、丁合、製本などの学習を行います。また、海水浴場や地域、学校での清掃活動、老人会と連携した独居老人宅の窓清掃や除雪活動に取り組んでいます。その他に、域において除草、ごみ拾いなどの清掃活動にも取り組んでいます。
- 【家庭総合科】
縫工実習では、バッグやポーチ、巾着袋など段階に応じて大小様々な製品作りに取り組んでいます。また、製菓実習では各学年5、6種類のパンを製造し、校内のカフェで保護者や地域の方に販売をしています。
- 【福祉サービス科】
高齢者への介護技術や家事援助の学習、週三日営業している校内カフェでの接客、焼菓子の製造などを行います。介護職員初任者研修を受講し、専門的な内容を深めて資格取得を目指すことができます。また、アビリンピック北海道大会に出場しており、令和元年度の全国大会では、銅賞を受賞しました。



生産技術科：紙すき



木工科：研磨



環境・流通サポート科：校舎清掃



家庭総合科：製菓



福祉サービス科：介護



寄宿舎：舎友会総会

■第1学年生徒の週時程表

【生産技術科】

	月	火	水	木	金
1	情報	作業学習 ※道徳	保健体育 (体トレ)	作業学習	社会
2	家庭		数学		理科
3	国語		国語		職業
4	数学		音楽		外国語
5	作業学習 / 進路学習	保健体育	美術	保健体育 (体トレ)	LHR
6					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期で実施

※「道徳」は特定の時期と作業学習で実施

※「体トレ」は体力トレーニングの略

*登校時間 8:00~8:40 (月~金)

*下校時間 15:30~ (月~水) / 14:30~ (木・金)

■教育課程の特徴

- 働く力、生活する力を高める学習
作業学習では、働くために必要な知識、技能、態度を身に付けます。「地域とのつながり」を大切にし、現場実習や就業体験を充実させるなど、望ましい勤労観や職業観を身に付け、将来の進路選択につなげています。
また、社会生活に必要な学力を身に付けるため、国語、数学、社会、情報、家庭、外国語などの教科学習を行います。
- 進路学習（総合的な探究の時間）
個性を生かした進路選択ができるよう、卒業後の仕事、生活、余暇などについて学習します。
また、「キャリアカウンセリング」では、学校生活の自分の目標を、学級担任や作業担当と相談しながら一緒に考えます。
- 自立活動の指導
一人一人の重点目標を踏まえ、主に「健康の保持」「人間関係の形成」「コミュニケーション」「心理的な安定」などの区分から項目を選定し、主に作業学習で指導することを想定して具体的な指導目標を設定します。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～30名
【接客・サービス、医療・福祉、流通など】
- 福祉的就労（就労移行、就労継続支援B型など）～17名
- 進学～1名
- その他～2名

学校のWebページ



胆振管内

北海道室蘭養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住所 〒050-0061 室蘭市八丁平3丁目7番27号
- 問合せ先 TEL 0143-45-8270
FAX 0143-45-8195
E-mail muroranyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.muroranyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の夢や可能性に向かって 心豊かにたくましく生きる
児童生徒の育成」
- 主体的に学ぶ児童生徒
- 自己選択・自己決定ができる児童生徒
- 思いやりをもって、人とかわり、協力する児童生徒
- 毎日を生き生き過ごす児童生徒



□ 概要

本校は昭和54年に開校した「平取養護学校白鳥学園分校」を前身とし、平成3年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。現在は、知的障がいのほか、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がい、病弱など複数の障がいを併せ有する生徒が在籍しており、医療的ケアの必要な生徒も在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、個別のニーズに応じた内容と多様な集団での学習を通して、将来の社会生活や地域活動に参加する上で必要となる力や望ましい生活習慣を養うための教育を行っています。児童生徒を真ん中に一人一人を主語にした取り組みの充実に努めています。

■ 特色ある教育活動

●高等部キャッチフレーズ「いきいき自立」

～卒業後を見据え、一人ひとりに合わせた自立した生活をいきいきと送っていただけるように、
それぞれの良さを伸ばしつつ、社会とつながった学習を充実させていくステップ～

青年期の生徒に対し、その心身の発達段階と障がいの状況に応じた教育を行うとともに、自ら学ぶ意欲を養い、たくましく社会生活を送るための知識、技能、習慣を育成する。

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、家庭生活や社会生活を営む能力を養うとともに、自立的な生活に必要な知識、技能、態度を育てる。【主体的な学び】
- (2) 青年期として必要な知識、技能、体力、習慣を育てるとともに、自ら選択し、意思決定しながら、主体的・対話的に社会参加し、意思表示できる力を育てる。【自己選択・自己決定】
- (3) 集団生活に進んで参加し、対人関係を豊かに広げ、自分を信頼し、相手を思いやる気持ちを持って協力する習慣や態度を育てる。【思いやり・協力】
- (4) 小・中学部、中学校で培った力の定着や拡大・応用を図り、進んで学び、豊かに生活しようとする態度を育てる。【生き生き過ごす】

【北海道大谷室蘭高校との交流及び共同学習】

互いに訪問し合い、作品交流や作業学習、レクリエーション等の活動を通して交流しています。

【高齢者施設との交流学習】

本校の学校紹介や各学年の発表をしたり、壁画を制作して作品交流等をしたりしています。

【国際交流学習】

年数回ALTや地域の外国人と交流を行い、外国語や外国の文化をレクリエーション等を通して学んでいます。



身だしなみ講座



体育大会



国際交流



生活単元学習：ANAそらばす教室



八丁平コスモスロード除草作業



蘭学祭

■週時程表（普通学級）

曜 日		月			火			水			木			金		
時 間		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1	9:00～ 9:35	日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動		
2	9:35～10:25	国語・数学 自立活動/教科	国語・数学 自立活動/教科	国語・数学 自立活動/教科	作業学習			国語・数学 自立活動/教科	国語・数学 自立活動/教科	音楽	国語・数学 自立活動/教科	音楽	国語・数学 自立活動/教科	国語・数学 自立活動/教科	音楽	国語・数学 自立活動/教科
3	10:30～11:20	HR 特別活動	HR 特別活動	HR 特別活動				作業学習/自立活動			生活単元学習			生活単元学習／ 総合的な探究の時間		
4	11:20～12:05	日常生活の指導 （清掃）/道徳	日常生活の指導 （清掃）/道徳	日常生活の指導 （清掃）/道徳												
5	12:05～12:55	日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導		
6	13:15～14:05	保健体育/ 体力づくり （類型B：自立活動）			HR（特別活動） （委員会活動）			日常生活の指導			作業学習			体力づくり/ 保健体育 （類型B：自立活動）		
7	14:05～14:50				日常生活の指導											
8	14:50～15:05	日常生活の指導									日常生活の指導			日常生活の指導		
下校時刻		15:10			14:20			13:20			15:10			15:10		

■ 教育課程の特徴

学校目標、学部目標を踏まえて、「各教科等を合わせた指導」（日常生活の指導、体力づくり、生活単元学習、作業学習）を中心に、「教科別の指導」（国語、数学、社会、理科、音楽、体育）や「自立活動」などから教育課程を編成しています（3パターンの時間割があります）。

□ 作業学習

「木工」「クリーニング」「農耕」「手芸」「紙工」「クラフト」「清掃」「窯業」などを通して、卒業後の日中活動や仕事で必要とされる基礎的な力を育成しています。

□ 現場実習（総合的な探究の時間）

卒業後の実際的な生活を見通し、地域の事業所等での実習を行います。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間を設け、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。また、各授業の中で生徒個々の自立活動の目標を踏まえた指導を行っています。

* 登校時間 9：00（月・火・水・木・金）

* 下校時間 15：10（月・木・金）／14：20（火）／13：20（水）

■卒業後の主な進路先について【22名】（令和5年度実績）

□ 就労継続B型14名、生活介護7名、自立訓練1名

学校のWebページ



胆振管内

北海道伊達高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒052-0012 伊達市松ヶ枝町105番地13
☐ 問合せ先 TEL 0142-25-5115
 FAX 0142-25-5115
 E-mail datekoyo-post@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.datekotoyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「自ら学ぶ力を高め 豊かな心とたくましい体を育み
 目標に向かって働く力を身に付け 新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる」



- ☐ 校訓
 「希望 自立 前進」

- ☐ 概要
 本校は昭和56年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習を中核とした学習指導を通して、社会で「働く力」「生活する力」を育成しています。また、学校と寄宿舎が連携し、社会自立を目指した生活指導を行っています。



■特色ある教育活動

- 【園芸科】**
 花やハーブ等を育てています。育てた花苗は、販売したり、花壇やプランターに植えて学校を飾ったりしています。また、ハーブでハーブティーや入浴剤を作っています。これらの作業を通して、自ら考え、積極的に行動する力、社会人として必要な能力や態度を身に付けます。
- 【窯業科】**
 湯のみ茶わんやコーヒーカップなどの陶器を製作し、伊達の「道の駅(物産館)」で販売しています。これらの作業を通して、自己理解を深め、勤労と社会のつながりを学ぶとともに、社会自立に必要な能力や態度を身に付けます。
- 【農業科】**
 無農薬野菜を育てています。収穫物を使った食品加工や販売を行っています。また、伝統作物を栽培し、ほうきづくり、藍染めなども行っています。これらの作業を通して、勤労の意義を学ぶとともに、社会自立に必要な知識や技能、態度を身に付けます。
- 【木工科】**
 ベンチやスツールなど木工製品を製作しています。これまで伊達市内外から製品の購入希望があり、多くの人に使っていただいています。これらの作業を通して、社会自立に必要な能力を身に付けるとともに、目標に向かって前進する態度を身に付けます。
- 【工業科】**
 コンクリート二次製品の製造を行っています。また学校祭や卒業制作では、鋼板を加工して、レジャーコンロや燗製器、カレンダーなどの製作も行っています。これらの作業を通して、勤労の意義を学ぶとともに、社会自立に必要な基礎的な能力や態度を身に付けます。
- 【家庭総合科】**
 清掃作業や調理実習、縫工作業に取り組んでいます。また、校外作業として近隣施設の窓清掃も行っています。これらの作業を通して、勤労の意義や社会とのつながりを学び、社会自立に必要な能力や態度を身に付けます。



園芸科：町内花壇造成



窯業科：撥水材塗り



農業科：すくもの製造



木工科：面取り加工作業



工業科：民地仕切り石（大）の型枠磨き



家庭総合科：施設の窓清掃

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	家 庭	体力づくり	職 業	体力づくり	体力づくり
2	体力づくり	理 科	総合的な 探究の時間	作業学習 (自学科)	国 語
3	作業学習 (自学科)	保健体育	作業学習 (自学科)		音楽/美術
4					
5	社会/外国語	作業学習 (選択)	特別活動	数 学	
6				情 報	

■教育課程の特徴

「働き続ける力」「生活する力」の育成を目指し、作業学習、体力づくりを中核とし、各教科間の関連をもたせた教育課程を編成しています。

また、生徒個々の教育的ニーズに応えるため、学科や教科等の特性を生かしながら、3年間を見通した系統的な指導計画のもと、指導方法の工夫を図っています。

本校のスクールキャラクター
「サムアイ」くん



□ 作業学習（自学科作業・選択作業）

所属する学科の「作業学習」を中心に3年間取り組みます。勤労の意義を理解し、職業生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることを目指しています。

第1、2学年は、主体的な進路選択につなげることをねらいとし、所属する学科以外の作業種に取り組み「選択作業」の学習を行っています。

□ 作業学習（現場実習）

地域の企業や福祉事業所で働く経験を通して、職業人としての基本的な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとして現場実習を行っています。学年によって実習の目的、回数、期間、引率教員の有無等が異なり、生徒一人一人の課題や進路希望に応じた実習形態を工夫しています。

○ 第1学年：秋季2週間 ○ 第2学年：秋季2週間、冬季2週間

○ 第3学年：卒業後の希望の進路先での現場実習を2～4週間

□ 各教科別の学習（国語、数学、理科、社会など）

社会生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとしています。「ホームルーム別」「複数のホームルーム合同」「課題別的小グループ」等、教科の特性や生徒の実態に応じた学習集団を工夫しています。

□ 自立活動の指導

本校では、自立活動の目標を個人の年間の重点目標として、作業学習や体力づくりの中で日々指導にあたっています。そのほか、教育活動全体を通して、自立活動の指導を行っています。

* 登校時間 8：25（月～金）

* 下校時間 14：20（月・水）／15：05（火・木）／13：15（金）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～24名【卸売業、クリーニングなど】
- 福祉的就労～12名【就労移行支援、就労継続支援B型など】
- 進学～2名 □ 未定～1名

合計39名



学校のWebページ



日高管内

北海道平取養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒055-0107 沙流郡平取町本町112番地7
- 問 合 せ 先 TEL 01457-2-3178
FAX 01457-2-3256
E-mail birayo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.birayo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- 校 訓（子ども像）
「よく考え学ぶ子ども」「豊かな心をもつ子ども」
「命と体を大切に子ども」
- 概 要



本校は昭和53年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置されました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習や生活単元学習など地域資源を積極的に活用した学習により、卒業後の自立と社会参加を目指し、働く力や生活する力を養っています。寄宿舎では、集団生活を通して社会性の向上や基本的な生活習慣の定着を図っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- ア 進んで学び行動できる生徒
- イ 場や状況に応じて、自分の気持ちを人に伝える生徒
- ウ 心と体を大切に生徒

【 多様化する生徒の状況に対応したコース制の導入 】

障がいの程度や種類が多様化している中、生徒一人一人の教育的ニーズや進路希望等に応じた教育課程の編成を目指し、令和2年度からコース制を導入しました。コースはワークコース、ライフコース、ライフベーシックコースの3つがあります。

コースでの学習は第2学年から始まり、生徒の興味・関心や自分の学び方に適したコースを選びます。コースの特徴として、「ワークコース」では、週9単位時間の作業学習があります。作業学習を中心に学習し、卒業後に向けて働く力を高めたい生徒が選択します。「ライフコース」では、週6単位時間の作業学習や週2単位時間の美術があります。学習内容をバランス良く学び、様々な学習を通して卒業後の生活を豊かにする力を身に付けたい生徒が選択します。「ライフベーシックコース」では、自立活動を主として学習し、対象の生徒は1学年から本コースで学びます。

【 平取町の地域資源を活用した教育活動 】

農業班は、週1回、地域のトマト農家やトマトの選果場で作業学習を行います。農家や選果場の方から直接指導を受け、実践的な学習を行います。総合家庭班や1年生は地域施設のビルクリーニング作業、ものづくり班は地域からの受注を受け、プラント等等の製作を行います。その他、地域の飲食店から受注を受けシール貼りや段ボール組立て等の作業も行っています。地域の中で働き、感謝されることを通して、働くことの意味や価値などを学びます。また、音楽や生活単元学習、総合的な探究の時間では、地域の音楽サークルや美術同好会の方を招いて、鑑賞や制作活動、アイヌ文化についての学習を行います。



作業学習：農業班（トマト農家）



作業学習：総合家庭班



作業学習：ものづくり班



作業学習：地域での作業
（図書館の清掃）



高等部祭での販売会



体育大会

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1		日常生活の指導（朝のHR）			
	日常生活の指導	保健体育／自立活動			
2	保健体育／自立活動	数学	保健体育／自立活動	国語	数学
3	作業学習	生活単元学習	生活単元学習	作業学習	作業学習
4					
5	国語	美術	HR活動	保健体育	日常生活の指導（帰りのHR）
6	音楽		日常生活の指導		
7	日常生活の指導（帰りのHR）		日常生活の指導		

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

*登校時間 9：05（月）／8：40（火～金）

*下校時間 15：05（月・火・木）／14：20（水）／13：35（金）

■教育課程の特徴

生徒一人一人の将来の生活を見据え、第1学年は共通した教育課程、第2、3学年はコースごとに教育課程を編成しています。

- 作業学習
生徒の実態に応じて意欲的に取り組むことができる活動を設定します。製品を仕上げたり、地域で活動したりする中で、生涯働き続けるための知識や技能、意欲、態度、習慣を育てます。第1学年は週6単位時間行います。
- 総合的な探究の時間
近隣校との交流及び共同学習、ALTとの交流などを通して、主体的に取り組む態度と意欲を育てます。また、現場実習を通して、社会の中での自分の役割に対する意識を高め仕事に協働的に取り組む姿勢を養います。
- 自立活動
各教科等を合わせた指導のほか、全ての教育活動の中で行います。
特にライフベーシックコースでは一人一人の生徒の障がいに応じて健康の維持・改善、コミュニケーション力の向上などを目指します。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉的就労～9名【就労継続支援B型2名、生活介護7名】
- その他～4名【在宅1名、未定3名】

学校のWebページ



日高管内

北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒056-0023 日高郡新ひだか町静内とさわ町1丁目1番35号
- ☐ 問合せ先 TEL 0146-43-2918
FAX 0146-43-2918
E-mail biratoriyougopetekarinosono-zO@hokkaido-c.ed.jp
- ☐ 学校Webページ <http://www.biratoriyougopetekarinosono.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- ☐ 校訓（子ども像）
「よく考え学ぶ子ども」
「豊かな心をもつ子ども」
「命と体を大切にする子ども」



- ☐ 概要
本校は昭和60年に北海道平取養護学校の分校として開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は平成12年に開設されました。知的障がいや重複障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域との交流を通して、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活する力」や「人と関わる力」等を養う教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標

- ・卒業後に地域で暮らすために必要な力（心身の健康管理・基礎的な体力と生活習慣・コミュニティへの参加）を育てる。【知識・技能】
- ・社会的な約束やルールがわかり、地域社会の一員として人と関わりながら生活する心を育てる。【思考力・判断力・表現力】
- ・お互いの考えや感情を尊重し、共に学び、考えながら社会の中で主体的に生活する力を育てる。【学びに向かう力・人間力】

【地域と共に進める「作業学習」】

卒業後に目指す生活スタイルやニーズ（必要と要求）の多様化を受けて、2つの作業学習班を編制し、地域社会において自立的に働く喜びや様々な人との関わりに必要な力の育成を目指しています。また、静内地域における主要産業の協力を得ながら、校外で作業学習を継続的に実施する地域作業を推進しており、地域社会で自立的に生活できる人材の育成に努めています。

・ワークデザイン

職業生活の自立を重点目標として、木工、コンクリート、農園芸、縫工などの作業に取り組んでいます。

・ライフデザイン

日常生活の自立を重点目標として、清掃、リサイクルなどの作業に取り組んでいます。



作業学習：木工作業



作業学習：リサイクル



作業学習：農園芸



体づくり



国語・数学



総合的な探究の時間：乗馬学習

■高等部（全学年）の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学		体づくり	国語・数学	国語・数学
3	体づくり		作業学習	体力づくり	体力づくり
4	作業学習	生活単元学習		保健体育	音楽美術
5	作業学習		自立活動	職業	LHR
6					日常生活の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

- * 登校時間 8：40（月～金）
- * 下校時間 15：10（月・火・木）
14：20（水・金）

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、体づくりを中心的な学習として、国語や数学などの教科の指導、総合的な探究の時間等を適切に配置し、関連付けて教育課程を編成しています。卒業後の社会生活（社会参加・社会貢献）において、実践的に役立つ力や生活習慣を育成する教育活動を展開しています。

□ 地域で学び、地域で活かす作業学習
新ひだか町静内地域の各関係機関の協力を得ながら作業学習を進め、勤労意欲を高めるとともに、仕事で必要とされる態度や習慣、場面に応じた対応などを中心に学習します。

□ アカデミックスキルの充実（国語・数学など）卒業後の生活に必要な力の育成を目指しています。ニュースや話を聞いて要旨が分かる力を育てる学習や、時計や金銭など生活に結び付いた学習を行っています。

また、その成果を確認するため、生活単元学習で、買い物や公共施設の利用についての学習を行っています。

□ 総合的な探究の時間
新ひだか町の施設を利用した「乗馬学習」を行っています。また、第1学年から第3学年まで現場実習を行っています。

□ 自立活動の指導
重複学級では、自立活動の時間を特設し、トップダウンとボトムアップの双方の視点から個々のニーズに応じた指導を行っています。普通学級では、各教科等を合わせた指導において個々の自立活動の目標を踏まえて指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉的就労 2名【就労継続支援B型等】
- 施設入所利用 1名【生活介護】

学校のWebページ

